

## NEWS RELEASE

2021年9月15日  
株式会社chaintope  
九州農産物通商株式会社

～ブロックチェーンで“メイド・イン・フクオカ”を証明～

(株)chaintopeと九州農産物通商(株)、福岡県事業を活用し  
ブランド農産物の輸出トレーサビリティ実証に成功

高い安全性を保ちながら、低コストでシステム運用できる注目のデジタル技術として「ブロックチェーン」が注目されており、様々な分野での活用が期待されています。

このたび、社会にブロックチェーンを実装することをミッションに掲げる(株)chaintope(本社:福岡県飯塚市、代表:正田英樹)と魅力ある地域特産品をアジアを中心とした世界各国へ輸出する九州農産物通商(株)(本社:福岡県福岡市、代表:田籠恭一)は、福岡～香港間の既存サプライチェーンにおいて、ブロックチェーン技術を活用した福岡県産巨峰及びシャインマスカットの産地出荷から消費者が購入するまでの流通工程におけるトレーサビリティ(※1)実証に成功しましたのでお知らせします。

この実証事業は、ブロックチェーン技術の振興を進める福岡県の事業(※2)の一環として行われたもので、(株)chaintopeが提供するブロックチェーンシステム「Tapyrus(※3)」が採用されています。本トレーサビリティシステムは、改ざんが困難なブロックチェーンの特性を生かし、産地偽装の防止や食の安全・安心を実現する技術として今後の展開が大きく期待されるものです。

今後は、2022年1月に同区間において福岡県が誇るブランドいちご「あまおう」の実証を予定しており、福岡県産品の更なる輸出促進や食の安全・安心の実現に貢献するため、ブロックチェーン技術を活用したトレーサビリティシステムの開発・展開を進めてまいります。

## 1. 背景

農林水産省は、2030年までに農林水産物や食品の輸出を5兆円に増やすという目標を実現するため、今後、優先的な支援先の候補として300を超える地域や企業のリストをまとめました。

(出典:農林水産省[https://www.maff.go.jp/j/council/seisaku/kikaku/bukai/attach/pdf/kikaku\\_0310-11.pdf](https://www.maff.go.jp/j/council/seisaku/kikaku/bukai/attach/pdf/kikaku_0310-11.pdf))

同リストにおいて福岡県内の品目も多数指定されており、農林水産省の掲げる目標5兆円達成の後押しが期待されています。また、コロナ禍の影響より、農産品の輸出に関わる各関係者の意識が大きく変化しております。トレーサビリティを明らかにして商品力を強化したい生産者、商品の製造及び流通過程を確認し安心して商品を購入したい消費者、トラブルに迅速に対応したい物流業者及び小売業者などサプライチェーンに関わる各関係者が安心安全かつ迅速確実に商品を取り扱うためにデジタル技術を用いた変革が求められています。

## 2. 八女市産巨峰などのトレーサビリティ

2021年8月下旬から9月上旬にかけて実施された実証1回目については、八女市産巨峰及び川崎町産シャインマスカットをトレーサビリティの対象としました。温暖な気候と豊かな清流に育まれた肥沃な土壌から生まれた福岡県産フルーツが四季を通じて多く集まるJAふくおか八女(※4)から巨峰、(株)chaintopeと親交のある川崎町ラピュタファーム(※5)からシャインマスカットを出荷協力いただきました。それぞれの産地の出荷担当者にスマホアプリを利用してトレーサビリティ情報を記録していただき、九州農産物通商(株)により輸出され香港の店舗へ届けられました。そして、香港の青果店「三代家」を訪れた顧客にぶどうのパッケージに貼り付けたQRコードをスキャンしてトレーサビリティ情報を閲覧いただき、トレーサビリティ情報の有無による「顧客の購買行動や意識の変化」をアンケートにより調査しました。



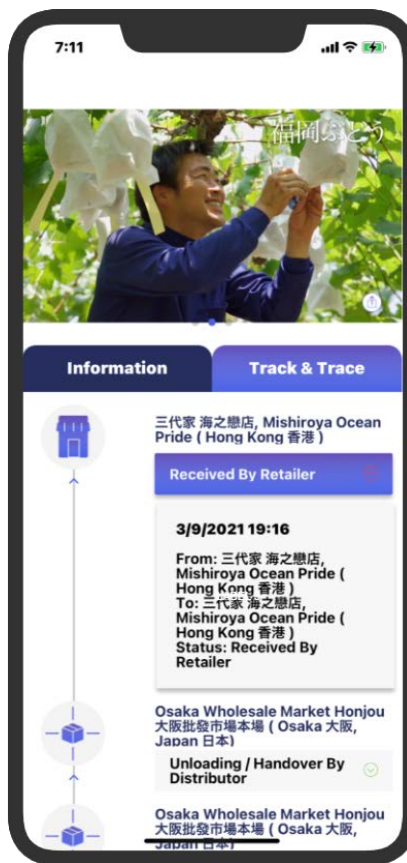
ラピータファーム(杉本農園)での作業の様子



JAふくおか八女(黒木選果場)での作業の様子



香港店舗(三代家)での販売の様子



Tapyrus APIを利用したアプリケーション

- プロジェクトマネージャー (株)chaintope 北川広のコメント  
実証1回目の結果、ぶどうの産地や生産者などのトレーサビリティ情報に価値を感じるお客様が非常に多くいらっしゃることを確認できました。「安心・安全な商品」、「生産者の顔が見える商品」の価値は今後も高まっていくことが見込まれます。  
この機会をチャンスと捉え、福岡県内の生産者が世界各国の消費者とつながる仕組みを構築し、福岡県産品の輸出促進に貢献していきたいと考えております。

### 3. 博多あまおうのトレーサビリティ

2022年1月に実施予定の実証2回目においては、博多あまおうをトレーサビリティの対象とします。実証1回目で得られた知見を活用し、既存の業務フローに対しての追加作業や追加コストが少ないかたちでの連携要領の調査を実施予定です。次年度以降も魅力ある福岡県産品の国内外への発信に寄与してまいります。



福岡県産ブランド「博多あまおう」(出典:JA全農ふくれん<https://www.hakata-amaou.com/kodawari/>)

### 4. トレーサビリティAPIサービスの提供

(株)chaintopeは今回構築したシステムをトレーサビリティAPIとしてサービス提供しております。農協、地域の農産物を扱う貿易会社様、地域産品のブランド価値を高めたい地方自治体様、企業様、農家様からのご連絡をお待ちしております。

お問い合わせ先:[info@chaintope.com](mailto:info@chaintope.com) (担当:北川)

**(株)chaintope**について

「ブロックチェーンインテグレーターとして社会にブロックチェーンを実装する」ことをミッションとして掲げるブロックチェーンテクノロジーカンパニー。パブリックブロックチェーンTapyrus(タピルス)を基盤として分散型DX開発プラットフォームを提供し、高速にブロックチェーンアプリケーションを開発し提供いたします。

ウェブサイト: <https://www.chaintope.com/>

**九州農産物通商(株)**について

農林水産物の販売チャネルが多様化するなか、輸出拡大の一翼を担うため、行政・JAグループの支援のもと、2008年に設立された貿易会社です。産地と連携し、アジアを中心に、おいしく、かつ安全な、農林水産物の輸出拡大を図り、海外ニーズに応えるとともに、生産者の所得向上を目指します。魅力ある地域特産品の開拓を推進し、販売を強化します。ウェブサイト:

<https://www.fukuokaapt.com/>

**(※1)トレーサビリティ**

商品の生産や流通過程が追跡できること、および生産や流通の履歴を正確に記録・管理するシステムのことを指します。各事業者が食品を取扱った際の記録を作成し保存しておくことで、食中毒など健康に影響を与える事故等が発生した際に、問題のある食品がどこから来たのかを調べ(遡及)、どこに行ったかを調べ(追跡)することができることに加え、産地偽装の防止などにもつながることから、食の安全・安心を実現するものとして注目されています。

**(※2)福岡県先端情報技術開発・実証支援事業補助金**

福岡県が行う先端情報技術であるブロックチェーン技術を活用して、新分野展開やビジネス拡大を目指す県内企業のソフトウェア開発や実証実験に対して補助金を交付する事業。

(株)chaintopeが応募した「福岡県産品のブランド価値を高め海外輸出を促進するトレーサビリティ実証事業」を採択。

問い合わせ先: 福岡県商工部新産業振興課 担当 澤、松尾

電話番号: 092-643-3453 E-mail: [shinsangyo@pref.fukuoka.lg.jp](mailto:shinsangyo@pref.fukuoka.lg.jp)

ウェブサイト: <http://www.digitalfukuoka.jp/topics/173>

**(※3) TapyrusおよびTapyrusプラットフォームについて**

Chaintopeが開発するエンタープライズ向けのブロックチェーンであり、進化を続ける最先端のブロックチェーン関連技術を統合的に利用できるシステム開発プラットフォーム。

Tapyrusは、複数の法人で共同運営するコンソーシアムの方針に合わせて、新しい記録を分散台帳に書き込む際のルールを設計でき、かつ公開されているオープンソースソフトウェアを利用して、誰でも自由に分散台帳を閲覧できる透明性をあわせ持つ。開発者はTapyrusプラットフォームの各種サービス(特許技術を含む)を利用し、ブロックチェーンの複雑な要素技術を意識する事なく、安全で高信頼のアプリケーションを開発することができる。

各業界のエンタープライズ向けにブロックチェーン技術を協力して社会実装するパートナー企業を募集中。

**(※4) JAふくおか八女**について

JAふくおか八女は福岡県の南部に位置し、東部は大分県、南部は熊本県と境を接し、八女市、筑後市、広川町の2市1町で構成されています。自然豊かに恵まれた管内では、米・麦、みかん・ぶどう・なし・キウイフルーツなどの果樹、JA販売高のトップに位置するいちご・なす・とまとなどの野菜、電照菊・ガーベラなどの花卉、そして茶の生産が盛んに行われています。ウェブサイト: <http://www.jafyame.or.jp/>

**(※5) ラピュタファーム(杉本農園)**について

ラピュタファームは自然に囲まれた果樹園の中のカフェレストランです。観光農園の敷地内で営業しており、野菜を中心に、地元の食材で作った料理やデザートをお楽しみいただけます。オープンテラスでは、密を避けて安心してお食事をお楽しみいただけます。またA5和牛のBBQも好評です。(株)chaintopeと古くから親交があり、実証素材提供の協力をいただきました。

ウェブサイト: <https://www.laputa-f.com/>